

指揮／**吉崎理乃**

東京国際指揮者コンクール
2024第3位
特別賞・齋藤秀雄賞受賞

進化する
超新世代と
世界を魅了する
名手の共演

トランペット／**イエルーン・ベルワルツ**※
元ハンブルク北ドイツ放送交響楽団首席奏者

©Julien Mignot

©Tsuyoshi Tachibana

ピアノ／**アレクサンドル・メルニコフ**※
1991年エリザベート王妃
国際音楽コンクール覇者

ハイドン・ショスタコーヴィチの 協奏曲

プロコフィエフ
交響曲 第1番 二長調 op.25
「古典交響曲」

ショスタコーヴィチ
ピアノ協奏曲 第1番 ハ短調 op.35* **

ハイドン
トランペット協奏曲 変ホ長調 Hob.VIIc:1**

ショスタコーヴィチ
ピアノ協奏曲 第2番 ヘ長調 op.102†

Orchestra Ensemble Kanazawa Special Subscription Concert Vol.3
Friday 30 January 2026, 7pm / Saturday 31 January 2026 2pm
ISHIKAWA ONGAKUDO Hogaku Hall

Ayano Yoshizaki, Conductor
Alexander Melnikov, Piano*
Jeroen Berwaerts, Trumpet**

S.Prokofiev : Symphony No.1 in D major, op. 25
D.Shostakovich : Piano Concerto No.1 in C minor, op.35*/**
F.J.Haydn : Trumpet Concerto in E-flat major, Hob.VIIc:1**
D.Shostakovich : Piano Concerto No.2 in F major, op.102†



2026

1.30 (金) 19:00開演 (18:15開場) / 31 (土) 14:00開演 (13:15開場)

石川県立音楽堂邦楽ホール

▼ TICKET 全席指定

S席 5,000円 / A席 4,000円 / 桟敷席* 2,500円

※桟敷席は靴を脱いでお座りいただきます。お席によっては他のお客様が視界に入り、見えにくい場合がございます。

すたあらいと席 1,000円 / 車椅子席 5,000円

お得な割引

OEK定期会員割引 (S・A席のみ) ▶ S席 4,500円 / A席 3,600円
シニア割 (65歳以上 S・A席のみ) ▶ S席 4,750円 / A席 3,800円
U25割 (25歳以下 前日より電話予約可) ▶ 全席当日券 半額

※シニア、U25は要年齢証明書

▼ PLAYGUIDE プレイガイド

石川県立音楽堂チケットボックス TEL 076-232-8632

(窓口9:00-19:00/電話10:00-18:00) ※休館日:11/17、12/15、12/29~1/3、1/19

WEBからの購入もできます。https://www.ongakudo.jp/

●チケットぴあ (Pコード:300-841) ●セブンチケット (7コード:111-512)
●ローソンチケット (Lコード:57973) ●イープラス eplus.jp ●teket (テケト) →



託児ルーム (有料) あります。TEL 076-232-8111 1/20 (火) 17:00までにお電話にてお申込みください。

※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。ご了承ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

俊英たちが織りなす芸術が息づく時間

巨匠リヒテルの薫陶を受け独自の音楽世界を切り拓くアレクサンドル・メルニコフと、元ハンブルク北ドイツ放送交響楽団首席トランペット奏者の名手イエルー・ベルワルツのふたりのソリストが登場する。ショスタコーヴィチとハイドンの協奏曲で、縦横無尽の活躍をくりひろげる。指揮の吉崎理乃は東京国際指揮者コンクール2024で第3位・特別賞・齋藤秀雄賞を受賞した気鋭。若き才能が新風を吹き込む。

©Tsuyoshi Tachibana

©Julien Mignot

トランペット

イエルー・ベルワルツ

Jeroen Berwaerts, Trumpet

ピアノ

アレクサンドル・メルニコフ

Alexander Melnikov, Piano

ベルギー出身のイエルー・ベルワルツは、卓越した技術力と繊細な音楽性でバロックから現代音楽、ジャズまでに及ぶレパートリーを操る稀有な存在のトランペット奏者である。NHK交響楽団、ウィーン交響楽団、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団など世界的オーケストラと協演。シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭をはじめ世界中の音楽祭に招待されている。現代音楽を意欲的に取り上げ、細川俊夫作曲トランペット協奏曲第2番「霧の中で」、フランチェスコ・フィリディ作曲「Carnevale」など世界初演も多い。これまでに、アレクサンドル・メルニコフと共演したパウル・ヒンデミット作曲のソナタ、テオドル・クルレンツィス指揮マーラー室内管弦楽団との協演によるショスタコーヴィチ作曲のピアノ協奏曲第1番、ルクセンブルク・フィルハーモニー管弦楽団との協演による細川俊夫作曲「旅VII」など録音も多数。カールスルーエ音楽大学で名手ラインホルト・フリードリヒ氏に師事、ゲント王立音楽院でジャズボーカルを学ぶ。ハノーファー音楽演劇メディア大学教授を務める他、英国王立音楽院のプロフェッサー・イン・レジデンスとして後進の指導にあたる。

1973年モスクワ生まれ。6歳でモスクワの中央音楽学校に入学し、モスクワ音楽院ではレフ・ナウモフ教授に学ぶ。卒業後、ミュンヘンでエリソ・ヴィルサーゼに師事。アンドレアス・シュタイアーやカール＝ウルリッヒ・シュナーベルらから手ほどきを受けたほか、スヴァトスラフ・リヒテルとも親密な関係を築いた。1989年のシューマン国際コンクール、1991年のエリザベト王妃国際音楽コンクールなど主要な国際ピアノコンクールで入賞、以来国際的に活躍している。デュエツ指揮ライブツィヒ・ケヴァントハウス管およびフィラデルフィア管、ゲルギエフ指揮ロッテルダム・フィル、プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管および東京フィル、デミルカーノフ指揮サンクトペテルブルグ・フィルをはじめとして、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、BBCフィル、BBC 響などとの共演を果たしている。リサイタルではコンセルトヘボウ、サントリーホール、アルテ・オーパー、クイーン・エリザベス・ホール、シャトレ座など世界の主要なホールに出演。室内楽ではワディム・レービン、ナターリヤ・グートマン、ユーリー・バジュメツ、アレクサンダー・ルディン、ピーター・ウィスベルウエイ、ジャン＝ギャン・ケラスと共演。現在はイザベル・ファウストとデュオを組んでいる。また、アンドレアス・シュタイアー、ボリス・ベレゾフスキー、アレクセイ・リュビモフとピアノ・デュオ活動も行っている。

指揮 吉崎理乃

Ayano Yoshizaki, Conductor

神奈川県出身。東京国際指揮者コンクール2024にて第3位ならびに特別賞・齋藤秀雄賞を受賞。2019年東京藝術大学音楽学部指揮科に入学、学内にて宮田亮平奨学金、安宅賞を受賞。また学部卒業時にアカンサス音楽賞、若杉弘メモリアル基金賞、取手市長賞を受賞し、新卒業生紹介演奏会では藝大フィルと共演。公益財団法人日本製鉄文化財団2023年度若手指揮者育成支援制度に合格、紀尾井ホール室内管弦楽団の指揮研究員として研鑽を積む。2024年8月には京都市交響楽団を指揮しデビュー。指揮を高関健、山下一史、三原明人、ピアノを大西慶子、高田さやか、各氏に師事。ナジ、エドワーズ、ファビオル・イージ、下野竜也各氏のマスタークラスを受講。



オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、岩城宏之が創設音楽監督を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバルなど、音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス（現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー）制を実施。ジュニアの指導、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組む。メジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2022年9月より広上淳一がアーティスト・イン・レジデンスを務める。

次回の定期公演のご案内

2026年2月20日(金)19:00開演/2月21日(土)14:00開演
北村朋幹が弾き振り。ピアノとオーケストラの対話。

OEK特別定期公演Vol.4のご案内

出演：
北村朋幹(指揮・ピアノ)
※公演詳細はHP等でご覧ください。

The Last!

